

富良野消防署占冠支署沿革

昭和 49 年 4 月 1 日	富良野地区消防組合消防本部発足（占冠支署職員数5名） 救急業務開始（占冠村から日本赤十字社救急自動車移管）
昭和 49 年 10 月 22 日	消防用無線基地局開設
昭和 50 年 4 月 1 日	支署職員1名採用（職員数6名）
昭和 54 年 10 月 15 日	支署職員1名採用（職員数6名）
昭和 55 年 7 月 26 日	日本赤十字社から2B型救急自動車受託（車両更新）
昭和 56 年 9 月 5 日	広報連絡車購入（トヨタ5人乗り）
昭和 58 年 12 月 1 日	支署職員1名採用（職員数7名）
昭和 63 年 10 月 11 日	資器材搬送車取得（占冠村から無償譲渡）
平成 元 年 4 月 18 日	占冠友の会婦人防火クラブ設立（会員数41名）
平成 元 年 7 月 7 日	日本赤十字社から2B型救急自動車受託（車両更新）
平成 元 年 10 月 17 日	小型動力ポンプ付水槽車（占龍号）購入（10,000リットル）
平成 2 年 4 月 1 日	支署職員1名採用（職員数8名）
平成 2 年 5 月 24 日	広報連絡車購入（トヨタ5人乗り）
平成 3 年 4 月 1 日	支署職員1名採用（職員数9名）
平成 4 年 3 月 5 日	占冠消防庁舎（コミュニティセンター併設）落成、現在地に移転 鉄筋コンクリート造2階建て、1,123平方メートル
平成 4 年 4 月 1 日	支署職員1名採用（職員数10名）
平成 7 年 2 月 16 日	水槽付消防ポンプ自動車（翔龍号）購入（3,000リットル）
平成 7 年 10 月 11 日	消防ポンプ自動車（占風号）購入（CD-I型）
平成 8 年 4 月 1 日	支署職員1名採用（職員数11名） トマム分遣所設置（職員1名配置）
平成 8 年 10 月 14 日	救急自動車購入（いすゞスーパーメディック）
平成 13 年 2 月 26 日	広報連絡車購入（ニッサン8人乗り）
平成 13 年 7 月 2 日	大型救助資機材購入
平成 14 年 4 月 1 日	支署職員1名採用（職員数12名）
平成 15 年 4 月 1 日	占冠村からの派遣職員の派遣を解く 支署職員1名採用（職員数11名）
平成 15 年 8 月 1 日	救急業務高度化資機材購入 救急救命士運用開始
平成 16 年 4 月 1 日	支署職員1名採用（職員数11名）
平成 18 年 4 月 1 日	支署職員2名採用（職員数12名）
平成 19 年 4 月 1 日	支署職員1名採用（職員数13名）
平成 19 年 10 月 12 日	高規格救急自動車購入（ニッサンパラメディック）
平成 21 年 4 月 1 日	富良野広域連合消防本部発足（占冠支署職員数13名） （富良野地区消防組合と上川南部消防事務組合が統合し業務移行）
平成 21 年 5 月 22 日	太平洋・島サミット消防特別警戒実施（5月22日から23日）
平成 22 年 3 月 25 日	水槽付消防ポンプ自動車購入（3,500リットル、CAFS装置搭載）
平成 24 年 4 月 1 日	支署職員2名採用（職員数15名）
平成 26 年 2 月 19 日	小型動力ポンプ付積載車購入
平成 26 年 10 月 30 日	指揮広報車購入（トヨタ7人乗り）
平成 27 年 3 月 13 日	消防救急デジタル無線整備
平成 27 年 3 月 30 日	小型動力ポンプ付水槽車購入（10,000リットル）
平成 27 年 4 月 1 日	支署職員2名採用（職員数14名）
平成 28 年 8 月 30 日	小型動力ポンプ付積載車購入
平成 29 年 12 月 21 日	高規格救急自動車購入（トヨタハイメディック）
	現在に至る